キタカミトリプルアニバーサリー2021プロモーション動画公開

KITAKAMI EMOTION（キタカミエモーション）

出演者［6名、5団体］※敬称略

（後方左から、SOMA-D、KARU、SHOTA。前方はキッズダンサーズ）

２０２１年を迎え、４月１日から始まる周年記念事業「Ｋｉｔａｋａｍｉ Ｔｒｉｐｌｅ Ａｎｎｉｖｅｒｓａｒｙ ２０２１」までおよそ2カ月となりました。この周年記念を祝い、盛り上げようと、１月22日にプロモーション動画を市公式Ｙｏｕ Ｔｕｂｅなどで公開しました。

映像のテーマは「伝統×交流×革新」。先人たちから脈々と受け継がれ、北上市の象徴の１つである郷土芸能と、ダンスや音楽、スポーツ、アートなど新しい分野を探究する皆さんが共演します。タイトルは「ＫＩＴＡＫＡＭＩ ＥＭＯＴＩＯＮ」。ＥＭＯＴＩＯＮは「感情」という意味です。映像の美しさや、出演者の心のこもったパフォーマンスが観た人たちの心を打つ映像に仕上がりました。古くから北上市は、南部藩と伊達藩の藩境として、文化交流が盛んな土地。伝統と新しい文化をコラボレーションさせ、更に進化する北上市を表現しています。

今回の広報特集は、出演者などの紹介と、メイン出演者のお二人と撮影者の対談を通じて、映像にかける意気込みや撮影の裏側などをご紹介します。

プロモーション動画 特別対談

㈱企作工舎（きさくや） 熊田 真也（まさや）さん × Controller dance studio（コントローラー ダンス スタジオ） KARU（カル）さん × 鬼柳鬼剣舞保存会 高橋 邦治さん

企画・演出・編集　　ダンス　　鬼剣舞

鬼剣舞とダンスの融合が伝える北上の魅力

―本日はよろしくお願いします。早速ですが、動画をご覧になった感想は。

邦治さん（以下 邦） 照明などの撮影スキルや編集で、鬼剣舞に元々ある踊りをKARUさんたちのダンスとうまく融合してくれました。

KARUさん（以下 K） ダンスシーンが少ないけど、カッコよく編集してもらったと思います（笑）。

真也さん（以下 真） それはすみません（笑）。絵コンテ段階では必要と思っていた撮影も、編集を進めるうちに、シンプルに構成する方がカッコいい作品になると思い、泣く泣くカットしました。鬼剣舞とダンスが合うことに本当に驚きました。

―楽曲と鬼剣舞とダンスがうまく融合しましたね。

K ゆったりとした曲調に合って良かったです。ダンスの振り付けには、鬼剣舞の跳ねるような躍動感を取り入れました。

邦 ダンスの振り付けはオリジナルですもんね。鬼剣舞の撮影時はいつものお囃子で踊りましたが、違和感なく編集してもらえました。

―撮影前に大変だったことは。

K 甲冑（かっちゅう）を着用しての振り付けです。重さと可動域の狭さが問題でしたが、撮影陣と相談して振り付けを決めました。

真 難点の一つは衣装でした。ダンス用の衣装ではないので、甲冑でどう踊ってもらうのか、時間をかけてKARUさんと話し合いました。

K 初めて着たときはロボットになったようでしたよ。

真 出演したパフォーマーさんを現代のサムライに見立てて、鬼剣舞などの芸能と共演させることは演出のこだわりでした。クライミングの中島治さんは忍者衣装で顔もほとんど映っていない（笑）。快く協力してもらいました。

―出演・撮影した感想は。

邦 5回ほど踊りました。演出は撮影陣を信頼して任せて、普段通り踊っています。

K サムライを意識したメイクをしてもらったら、保護者に気付かれないほどで（笑）。

真 私はいち観客のように、カッコいいなと。照明やあの撮影空間でダンスも鬼剣舞もカッコよくて。編集のハードルが上がってしまった（笑）。

―オープニングの二人の立ち姿が期待をあおりますね。

KARUさん

51歳、相去町在住。青柳町と花巻市のダンススタジオController dance studioを主宰する。90年代のHIPHOP（ヒップホップ）ダンスを軸としたダンススタイル。スタジオ運営のほか、NPO法人「未来の扉」で障がい者にもダンスを教えるなど、さまざまな形でダンスの普及に取り組む。趣味はフィギュア集めと温泉巡り。

高橋 邦治さん

40歳、鬼柳町在住。鬼柳鬼剣舞保存会に所属し、白面をつける一剣舞として踊る。13歳から鬼剣舞を始め、3年前に師匠となる。週3回の練習指導のほか、休日も若手のための毛采（けざい）作りをするなど、鬼剣舞が生活の一部になっている。

―撮影時間はどれくらい。

邦 リハーサル含めて2時間くらいだったと思います。

―伝統×交流×革新がテーマです。

真 とにかく若い人に興味を持ってほしかった。これまでの仕事を通して、ほとんどの芸能団体が継承に課題を抱えていると分かりました。芸能と現代パフォーマーをコラボさせることで地元の魅力を伝えられるのではと思いました。

邦 映像作品としての共演でしたが、お互いの魅力を出し合って融合できたのではないでしょうか。

K 機会があれば、今後もっと近い形でコラボレーションできたら面白いと思います。

邦 現代の文化とコラボレーションした例は少ないので、伸びしろもあると思います。

真 作品がそのような機会にもなってうれしいです。

郷土への思いが強まる作品に

―後進を育成する立場です。

邦 地元への愛着を持っていてほしいなと思っています。私は、子どもの頃から鬼剣舞を継承するんだと決めて、進学も就職も地元を選択しました。私を真似てほしいわけではないですが、普段の生活をちょっと振り返ってみてほしい。環境や仲間など、北上市でないとできないことに気が付くと思います。そして、それが地元への恩返しにつながるとうれしいですね。

K 私たちのスタジオのコンセプトは、「ダンスの秘める可能性を追及する」です。人前で踊ることで、人前に出ることが当たり前になる。積極的に前に出てほしいです。

―作品を観て、若い人に感じ取ってほしいことは。

真 私は幼少期に福島県の南相馬市で育ちました。そこで観た、郷土芸能の相馬野馬追（そうまのまおい）が今も鮮明に印象に残っています。この作品を観て、生まれ育った北上市の鬼剣舞などが心に残るきっかけになってくれたらうれしいです。

―今年やりたいことは。

邦 若手をいかに育成するかばかりもんもんと考えています。コロナ禍で出演が激減したが、現時点でできることを精一杯やっていきたい。

K 主催する4月4日のダンス発表会を開催したい。コロナは早く落ち着いてほしいです。

真 トリプルアニバーサリーは貴重な機会。コロナで気持ちまでふさぎこんでほしくない。できないことはありますが、面白いことをやりたいと思っています。

―トリプルアニバーサリーをPRできる動画になっただけでなく、今まで交流がなかった文化や人が交わる機会にもなりました。ありがとうございました。

3人の対談は市公式YouTubeチャンネルでも視聴できます。

熊田 真也さん

38歳、盛岡市在住。映像制作会社の㈱企作工舎で番組・動画などの制作に係る。本作でディレクターとして企画、演出、編集など幅広く担当。趣味はギターの演奏や、海釣り。この時期はアイナメ釣りで海へ通う。

1月22日本日公開!!

KITAKAMI EMOTION（キタカミ エモーション）

周年記念事業プロモーション動画は、キタカミトリプルアニバーサリーの機運醸成だけではなく、郷土芸能や文化など北上市の魅力を再発見できるものになりました。伝統×交流×革新がテーマの今作。伝統芸能と、アートやスポーツなどで活躍する現代パフォーマーたちがコラボレーションした、観る人の心を打つ作品になっています。出演、制作陣の思いがつまった「KITAKAMI EMOTION」はこちらのQRコードか、市公式YouTubeチャンネルからご覧ください。